

みやぎの多文化な人 宮城県内で活躍している海外出身者をご紹介します。

## 四季と共に 五感を研ぎ澄ます日々



サム キャロン さん

新澤醸造店勤務 副社氏  
アメリカ カリフォルニア州出身

—ご家族や子どものころのことを教えてください。

家族は両親と姉、弟、妹と私の6人です。日本留学を終えた両親が、米国で博士課程を修了する頃に私が生まれ、私以外の3人は東京で生まれました。両親の「2言語を両立させる」という方針のもと、10才くらいまで日本の保育園や公立小学校とインターナショナルスクールをだいたい2年ごとに変りました。小学校5年生から高校卒業まで在籍したアメリカンスクールでは、日本語を普通に話せたので1割ほどいた日本人グループとも仲良くして、ときにはアメリカ人グループとの仲介役もしていました。

—高校卒業後、アメリカの大学へ進学されたそうですが、どんな日々でしたか。

ペンシルベニア州のハバフォード大学に進学し、歴史を専攻しました。それまで毎年家族で帰国し、祖父母に会っていましたが、4年間アメリカで暮らすことになって、少なからず驚きもありました。バターを買ったとき、安価で大きくて、改めて「これぞアメリカ」と認識しました。実は建築に興味があり、大学3、4年生の夏休みにサンフランシスコの建築事務所でインターンシップを経験しました。ところが、あまりに自由な働きぶりを見て、「これは自分に合わない。日本人のようにまじめに働く環境で仕事がしたい」と考えるようになっていました。

—日本で就職するまでの経緯を教えてください。

2015年に大学を卒業し、両親のいる東京へ帰ってきました。日本語のブラッシュアップを兼ねてビジネス用語を学んだり、レストランでアルバイトをしていました。そんなとき、母の知り合いが新宿区四谷で地酒専門店を開いており、日本酒に出会い、魅了されました。それまで地ビールなどを楽しんでいましたが、日本酒には想像もなかった味わいがあり、それも手ごろで種類が豊富だと知り、心を奪われたのです。

2016年の11月末、そのお店の親族の方が、日本酒造りに興味があるなら酒蔵で働いてみないかと紹介してくれました。そして翌年の1月、美しい雪景色のなかに建つ酒蔵を訪れ、その年の春から働くことになりました。あとから聞いた話では、若手も女性も多く、チーム制で最先端技術の酒造りを行っているこの蔵が私に合っているのではと考えると、繋いでくれたとのことでした。

—この仕事に就いて、周りの反応はいかがでしたか。そしてサムさんに変化はありましたか。

私は石橋を叩いて渡るような性格で、知り合いもいない場所で働くことについては周りを驚かせたかもしれません。でも、姉たちは私が食に興味があることを知っているのです、すんなりと納得したようです。当時は日本酒に目覚めて1年もたない頃で、日本酒造りへの好奇心のほうが強く、また社氏になりたいとか考えることもなかったので、あまり気負いはありませんでした。経験して思ったことは、面白いチャンスが



仕込み作業中のサムさん

来たら掴まないほうが後悔するし、不安に思ったら、とりあえず飛び込んでみたほうが良いということです。若いうちならいくらでも軌道修正できますから。私は、夢中になれるこの仕事に出会えたことに感謝しています。今は5時からの仕込み当番が週に2日あり、3時半に起床し、蔵まで30kmほどの道のりをワクワクしながら車通勤しています。最近では山桜が朝日に映えてきれいですよ。紅葉も素晴らしいですが、冬の月も雲もない夜明け前に出会える満天の星空は、言葉にできないくらい感動的です。

日本酒造りは季節の変化に敏感に反応します。天気や気温だけでなく、自分の手の温度すら影響します。仕込みの作業で、ここ1、2か月は米を冷ます放冷機の上に乗って温度管理の判断をしているのですが、作業後の確認で温度を測ると、予定している温度にぴったりか誤差0.2度以内で収められているので、とても気持ちがいいですね。コロナ禍で試飲会や催事へ行く機会が減ったため、私には日本酒造りに集中して取り組み、腕を磨くことができる貴重な日々になっています。

—将来についてお聞かせください。

ここで日本酒造りに専念したいと考えています。もし将来、自分で蔵を作ることになっても、宮城以外の場所は考えられません。宮城のあっさりとした甘さ控えめな日本酒を作り続けたいです。

### 新澤醸造店社長 新澤巖夫さんにお話を聞きました。

サムは、すぐにここに馴染みましたよ。彼の日本を学ぶ姿勢はすばらしく、理解力だけでなく疑問に対する解決力も高いです。実際、もったいないくらいの人材が宮城に来てくれたなと思っています。海外の日本酒愛好家向けに蔵からライブ配信したときには、技術者の視点から最先端技術で作られている酒造りの面白さを英語で紹介してくれました。そんなことができるのは日本中で彼しかいないです。彼の優れた能力は、宮城だけでなく世界の高みで発揮されるべきだと思っているので、その時が来たら誇りをもって送り出したいですね。

# 「みやぎ外国人相談センター」から

## PCR検査の自費検査と検査結果診断書の発行が可能な機関

「みやぎ外国人相談センター」には、「母国への一時帰国を予定しているのでPCR検査を受けたいのだが、どこへ行けばいいのか」といった相談が寄せられることがあります。

PCR検査は、原則、発熱などの症状や感染者との濃厚接触がない場合は、自費で受けることになります。

宮城県内もしくは国内で自費検査可能な機関を以下のサイトで紹介しています。

検査を予定されている方は最新情報をご確認の上、病院やクリニック等へお問合わせください。

### ●厚生労働省のHP

「自費検査を提供する検査機関一覧」

### ●日本渡航医学会/TeCOTのHP

「ビジネス渡航者へのPCR検査の検体採取および検査証明の発行が可能な医療機関」

また、成田空港や羽田空港内にもPCR検査センターが開設されています。なお、検査機関を指定している国や地域(中国やハワイ)などもありますので、大使館が公表している情報もあわせてご確認ください。

## 多文化 なトピック

### 消費者トラブルの相談 多言語対応します!

インターネット通販やサービスは在住外国人にも手軽で便利なツールです。しかし、詐欺サイトによるトラブルに巻き込まれるケースが増えています。

宮城県消費生活センターは、こうした消費者トラブルの相談に応じる専門窓口であり、外国人からの相談にも対応しています。

外国語で相談したい場合、まずは「みやぎ外国人相談センター」にご連絡ください。トラブルの内容を確認した上で消費生活センターにつなぎます。また必要に応じてMIAから「通訳サポーター」を紹介し、通訳をつけて相談することもできます。

不審に思ったり、被害に遭ったと感じたら、電話で相談してください。

日本語で相談したい方は

宮城県消費生活センター

022-261-5161

日本語以外のことばで相談したい方は

みやぎ外国人相談センター

022-275-9990



### 相談するときにはあれば用意しておくもの

- 商品やサービスの保証書又は契約について書かれた書類
- 請求書や領収書など金額がわかるもの
- やり取りや商品のURLのプリントアウトかスクリーンショット

## みやぎの国際活動団体 Webで検索できます



「みやぎの国際活動団体DIRECTORY」は、宮城県内の国際活動(国際交流・国際協力・多文化共生)に携わる団体及び関係機関を当協会のホームページで公開しているものです。(公財)仙台観光国際協会/SenTIAと協働で毎年情報を更新しており、現在200余の団体情報を掲載しています。各団体は、①県内市町村国際交流協会、②親善交流を主たる目的とする団体、③特定の国や地域との親善交流を主たる目的とする団体、④国際協力や支援を主たる目的とする団体、⑤在住外国人が主たる会員の活動団体、⑥在住外国人相談支援活動団体、の6つのカテゴリーに分けられています。

また巻末には、県内外の関係機関の連絡先や国際的な活動を対象とした助成金の案内もあります。ぜひご覧ください。





## 「MIA日本語ボランティアセミナー」のご報告

日本語ボランティアの皆さんにスキルアップと情報交換の機会を提供する「MIA日本語ボランティアセミナー」をオンラインで開催し、44名の方にご参加いただきました。

テーマもずばり「オンラインでの日本語学習支援」。「Zoom」の基本的な使い方や、オンライン教材等を活用したサポートの実例、「MIA日本語サポーター」のオンラインでのサポート事例をご紹介します。

参加者の半数が既に何らかの形でオンラインでのサポートを経験済みでしたが、「具体的な支援の様子が変わり今後の参考になった」「新しいツールを使うことについてのハードルが下がった」といった感想が寄せられました。(アンケートもGoogleフォームを使って実施したところ回収率がとても高く、また、自由記述欄にもたくさんのコメントを書きこんでいただき、MIAとしてもオンラインのメリットを実感させられました。)

対面でのサポートと比べてさまざまな制約があるものの、日本語学習支援でのオンラインツール活用の更なる可能性を感じるセミナーとなりました。

### 〈セミナーで紹介したオンライン教材〉

#### 「つながるひろがる にほんごでの暮らし」(文化庁)

<https://tsunagarujp.bunka.go.jp>

場面に応じた日本語が学べるよう、日本で暮らす外国人の生活場面を再現した動画が揃っています。

◎対応言語：日本語、英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、インドネシア語、フィリピン語、ネパール語、クメール語

#### 「いろどり 生活の日本語」(国際交流基金)

<https://www.irodori.jpf.go.jp>

音声データを活用した数多くのタスク活動を行っていくことで学習を進めます。

◎対応言語：英語、中国語、モンゴル語、インドネシア語、クメール語、タイ語、ベトナム語、ミャンマー語 \*日本語併記



入門



初級1



初級2



## オンラインで日本語学習サポートをしています！

当協会では、宮城県に住んでいる外国人に1対1で日本語学習のサポートをする「MIA日本語サポーター」の紹介を行っています。この活動も昨年来、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、対面型のサポート活動を休止して、オンラインによる学習サポートに切り替えています。昨年度は10名以上のオンラインサポートのマッチングを行いました。

実際にオンラインでサポート活動を行っているサポーターさんに感想を伺ったところ、画面越しのため相手の表情を読み取りづらく、サポーターさんの話や説明がしっかり理解されているかどうかなかなかつかみにくいという声が複数聞かれました。一方で、自宅のできるの移動する必要がなくなり天候にも左右されないこと、活動する時間だけ確保すればよいので比較的気軽に活動できるようになったこと、また、画面共有を使ってすぐに画像や動画を見せることができたり、チャット機能を使って漢字を示したり視覚に訴えやすくなったことがメリットとして挙げられました。

今年度もオンラインで日本語学習のサポートを行っています。みなさんの周囲に日本語を勉強したい外国人がいいたら、ぜひMIAをご紹介ください。

## ライブラリー

ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出しまたは当協会図書資料室で閲覧可能です。

### 「令和3年度 日本語教育能力検定試験 合格するための本」

発行：アルク

「日本語教育能力検定試験」は、日本語教育に携わっている人や日本語教師になるための学習をしている人を対象におこなわれる日本語教育の基礎的な能力や知識の習熟度を問う試験です。年に1回の実施で、難易度は高めですが、日本語教師を目指すなら受けておきたい検定です。

本書はこの難関試験に合格するために必要な情報が網羅されています。「試験当日の流れ」や「日本語教育界の今とこれから」についても説明されているほか、試験の出題範囲となる5つの分野「社会・文化・地域」、「言語と社会」、「言語と心理」、「言語と教育」と「言語一般」について、それぞれ重要キーワードと出題例が解説付きであり、さらに音声ダウンロード可能な「聴解試験」と記述式問題もあります。

検定試験合格のために、そしてこれからの日本語教育のあり方を考えるために、ぜひ参考にしていただきたい一冊です。



# MIA国際理解教育支援事業をオンラインで実施しています。

MIAでは、地域における国際理解教育の推進を目的として、これまで、MIAに登録している外国人講師を学校や団体へ派遣する「国際理解教育支援事業」を行ってきました。

2020年度からは新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、派遣型のプログラムの実施を見合わせていますが、コロナ禍でも、子どもたちと外国人講師との交流の場を作るべく、オンライン形式でのプログラムをはじめました。ZOOMで会場(学校の教室や体育館等)とつなぎ、写真や動画を織り交ぜながら、外国人講師が母国の文化やことばを紹介したり、クイズを出したりして子どもたちと交流します。

## 【昨年度オンラインプログラム参加者の感想】

- いろいろな国の食べ物を知ることができて楽しかったです。虫を食べる国があってびっくりしました!(小学四年生)
- 地理などの授業では学習しないことまで知ることができた。(中学一年生)
- 同じ地球に住んでいるのに、こんなにも文化が違うのは、本当に面白い。その違いを受け入れあっていく社会になればいいと思った。(中学三年生)
- 他の国と協力するのはまずその国を知ることが第一歩だと思うので、今回回る機会を得られてとても良かったです。(高校一年生)

プログラム実施に向けてのご相談も受け付けております。詳細は、MIAホームページをご覧ください。

<https://mia-miyagi.jp/kokurikyo.html>



## みやぎの国際活動団体

### 「宮城県行政書士会」 外国人関連業務推進班 班長 高瀬幸雄さん

宮城県行政書士会に、出入国在留管理局へ外国人に関連する申請取次を行う有資格の会員が県内各地に166名おります。2019年4月の出入国在留管理法の大改正を受け、さらに充実した外国人関連の業務を担うべく、県の行政書士会内部に外国人関連業務推進班を編成して2019年9月から活動を開始しました。

外国人関連業務推進班の活動を周知するためのポスターの作成と配布を行うとともに、企業様からの外国人受入れの各種ご相談や、自治体等主催の外国人関連相談会への相談員派遣を行っております。

外国人関連のご相談につきましては、宮城県行政書士会事務局までお電話、メールにてお気軽にご連絡ください。



日本行政書士会連合会の公式キャラクター ユキマサくん

### 連絡先

TEL : 022-261-6768

Eメールアドレス : mg-info@miyagi-gyosei.or.jp

## サポーターの声

### ハゼム・アッバスさん MIA国際理解教育支援事業講師 (東北大学留学生)



大学の新生オリエンテーションで、MIAの外国人講師の活動を知りました。私はエジプトの出身ですが、日本でエジプトと言うと砂漠とピラミッドのイメージが強いと感じます。一方で、水球などのスポーツが盛んだったり、日本でも食べられているモロヘイヤがエジプト由来であったり、といった他のイメージを持っている日本人はまだ多くないと思います。私はエジプトについて、子どもたちに詳しく紹介したいという気持ちがあり、講師に登録しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、外国人講師の活動も2020年の秋からオンラインになりました。オンラインでの交流は対面と比べ、時々音が聞き取りにくいことがあるなど、難しいことも少しありますが、動画などの共有が簡単になってエジプトについてよりわかりやすく紹介できるようになったのは良かったです。

交流前はエジプトについてあまり知らなかった生徒から、「興味深い国だと思った」、「生活や食文化を知って親近感が芽生えた」などの感想を聞くと、やりがいを感じます。子どもたちからお礼のお手紙が届いたこともあり、とても感動しました。

## 賛助会員募集

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人の輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。



### ●賛助会員の資格

本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など

### ●賛助会員の区分と年会費

個人会員/1口 3,000円

団体会員/1口 10,000円

### ●賛助会員の特典

◎協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の

定期送付(年6回)

◎当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免

◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引

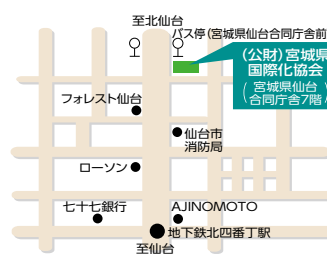
宮交観光サービス(株)

◎企業会員については世界各国国旗の無償貸し出し、及び当協会の外国人スタッフ等による国際理解出前講座の無償提供

### ●入会方法

◎本協会あて御連絡ください。

所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



## 倶楽部 MIA vol.115

編集・発行  
公益財団法人 宮城県国際化協会  
〒981-0914  
仙台市青葉区堤通雨宮町4番17号  
宮城県仙台合同庁舎7階  
TEL 022(275)3796  
FAX 022(272)5063

E-mail [mail@mia-miyagi.jp](mailto:mail@mia-miyagi.jp) URL <https://mia-miyagi.jp>

